

交流 Vol.35



滋賀県留学生交流推進会議

目次

1. 留学生の声.....	2
今を大事にしていきたい.....	2
かけがえのないコロナ時代の留学経験.....	3
日本に寄せる思い.....	4
日本での保育実習.....	5
『日本の大学で感じたこと』.....	6
曖昧さの境界線.....	7
類似の楽器から見た中国と日本.....	8
滋賀の思い出.....	9
帰り道の夕陽がきれい.....	10
2. 交流事業の紹介.....	11
独立行政法人日本学生支援機構 近畿支部.....	11
草津市国際交流協会（KIFA）.....	12
龍谷大学.....	13
長浜バイオ大学.....	14
2020 年度滋賀県内の留学生関連国際交流事業一覧.....	15
3. 県内大学、短期大学の留学生受入状況（2020 年 5 月 1 日）.....	18
(1) 留学生数の推移.....	18
(2) 在籍身分別留学生数.....	18
(3) 出身国（地域）別留学生数.....	19

※本誌記事における留学生の情報（所属機関・学年等）は 2020 年度時点のものです。

今を大事にしていきたい

滋賀県立大学 人間文化学研究科
地域文化学専攻 博士後期課程 第1年次

デルゲル ウラムツェンゲル さん

私はモンゴル国立大学の社会学の修士課程に在籍していた時、2011年～2012年にかけて滋賀県立大学に留学していました。モンゴル国立大学と県大との交流による交換留学生として1年間日本文化と触れ合い、日本語を学ぶ貴重な経験をしました。

モンゴルの大学では日本語学科を卒業しましたが、大学院の際は、全く違う社会系の文化人類学を専攻しました。日本語を使いながら、他の分野についてより詳しく研究しようと思って、大学院に進学しました。

モンゴルから初めて日本に来た時、交換留学生の私たちが着いたのは、日本最大の面積を持つ母なる湖と言われる「琵琶湖」の東北部に位置するきれいな街「彦根市」でした。琵琶湖のほとりにある豊かな自然に恵まれる大学も魅力的でした。大学のキャンパスがあまりにも広く、最初は講義室を探して、よく迷いました。日本語が下手な我々のために授業が終わった後、分からなかったことや日本の文化、人類学などについて、先生からモンゴル語で教えていただきました。この場を借りて、恩人である島村一平先生に心から感謝を申し上げたいと思います。

このように様々な国の学生たちと仲良くなり、お互いに学び合い、交流ができた充実した1年はあっという間に過ぎてしまいました。

モンゴルに帰国後、日本で学んだ知識を具体的に活かそうと思い、ある日本の会社に就職しました。さらに結婚し、母親になった私は、幸い再び留学するチャンスを得ました。お陰様で、あの日から10年経った今日、私は県大の博士課程に進学することができ、徐々に研究を進めています。

10年前に滞在していた彦根の街並み、アパートから大学までの通路、四季に美しく

移り変わる県大の景色と改めて出会えることは私の人生での素晴らしい奇跡の一つとなりました。今後は、勉強と育児を両立しながら、大学での生活だけでなく、視野を広げ、日本の社会生活を体験してみて、「一期一会」ということわざのように、今を大事にしていきたいと思います。

これまで私の人生で大きな存在となり、ご指導をいただいた先生方をはじめ、いつも応援してくれた家族や友人等多数の人に心から改めて深く感謝を申し上げます。皆さん、本当にありがとうございました。



かけがえのないコロナ時代の留学経験

滋賀大学 経済学部
企業経営学科 3 回生

林 易佐（リン イサ）さん

2020 年 4 月から滋賀大学に編入し、留学生生活を始めた。しかし、コロナの影響で日本に入国することができず、母国台湾でオンライン留学せざるを得ない状況になってしまった。オンライン留学は母国でも受講できてとても便利であるが、時差の関係で授業の時間や課題提出の期限を間違えたことや通信環境の関係で、時々授業中に先生の音声聞こえなくなったことや教科書がなかなか入手できないなど色々大変なこともあった。台湾人の先輩たちからたくさん授業の情報やノートをいただき、何とか無事に春学期を終えた。

秋学期は渡日でき、待望の留学生生活を始めた。印象に残ったことは3つある。一つ目は、彦根市長さんからお米と手紙をいただいたことである。海外の一人暮らしを始めた私は少し不安だったが、市長さんからの手紙とお米に励まされた。続いて二つ目は、雪である。台湾の平地は雪がないので、雪は私にとってとても珍しいものである。初雪の日に、友達と一緒に雪だるまを作りとても楽しかったが、雪を触りすぎてしもやけにもかかった。しかし、雪だるまも霜焼けも初体験だったので、とても貴重な経験だと思う。最後に三つ目は、「滋賀大学学生交流会」である。今年はコロナの関係でいろいろなイベントが中止になったので、滋賀大学の学園祭も学生交流会になった。先輩たちの情報によると、もともとの学園祭はたくさんのサークルが模擬店を出店し、お祭りみたいなものだそう。今年の学生交流会は入場者数も制限し、コロナ対策で模擬店もなしの形で行われた。模擬店はないが、たくさん面白いゲームや抽選会があった。私はゲームでたくさんのお菓子をもらい、ビンゴ大会でも超大盛の焼きそば（六人前）が当たり、とてもラッキーで楽しい一日であった。

コロナ時期の留学にはいろいろ難しいことがあったが、楽しくて面白い思い出もたくさんあり、これらの思い出は一生忘れないと思う。



日本に寄せる思い



滋賀医科大学 医学系研究科
臨床腫瘍学講座 博士課程第3学年

ZHU MING (じゅー みん) さん

ちょうど万物がよみがえりだしたころ、私は憧れと少しの不安を抱えながら縁の深い隣国である日本にきました。あっという間のことになり、あれから三年間たちました。ずっと親と一緒に暮らしていたので、一人で外国で暮らすのは全然経験がなく、ドキドキしていたが、周りの先生や友達からすごく親切していただき、私を励ましてくれながら、たくさんの助けをいただいたことにより生活や勉強も順調に進め、初めのドキドキという気持ちがいつのまにかワクワクな気持ちになりました。

小さいころからよく日本のアニメや映画を見て、あまりにも好きになり、いつか絶対に日本で暮らしてみたいなと思っていました。多くのアニメの中で私は宮崎駿のシリーズが一番好きです。彼の作品を通して、彼の人生に対する思いが私に伝わってきます。世の中の色々な問題点、例えば森林の枯渇や水質汚染、人間性の欠如などの問題を、繰り返し考察しながら観客を喜ばせてそして自省させる作品で最高です。そして、唯美的な景色、自然の美しさを感じながら、私を日本の世界に連れ込み、文化、建物、自然、人間を感じながら感嘆した。美を探索する目、美食を味わう口、メロディーを聞く耳、香りを匂う鼻が刺激され、この世を愛することで、旅行や撮影が好きになった。

日本の伝統的な文化を浴びながら、自然の神工鬼斧が心を浄化し、古風な街並みの京都、にぎやかでモダンな東京、面白い関西弁を話しつつ文化交流がある大阪、歴史の教訓から平和を願う広島、そして人々を育てる水の宝庫である滋賀、全部私の記憶に残りました。最近はコロナで旅行が難しいことになっていますが、一日も早くコロナが早く終息しますように願い、日中文化交流、日中友好のために全力を尽くしてまいりたいと思っています。



日本での保育実習

滋賀短期大学
幼児教育保育学科 2 回生

K.D.SEHANI GUNAWARDANA さん
(セハーニ グナワルダナ)

私は、小さい頃“おしん”というドラマを観て、いつかは日本に行きたいという気持ちが強くなり、これがきっかけで日本への留学を決めました。日本では、日本語学校で勉強した後、滋賀短期大学に入学しました。

私は子どもが大好きなので、将来子どもと関わる仕事がしたいと思っています。そのため、幼児教育保育学科で保育士を目指して必要な資格を取るために頑張っています。日本の幼児教育は、学んでみるととても難しいです。諦めようかなという気持ちも出始めたのですが、保育実習に行ってから気持ちが変わりました。

保育実習では、短大で学んだ全てのことを思い出し、理解を深めながら子どもとのコミュニケーションに励みました。コミュニケーションのやり取りは、子どもの年齢によって違うことが、保育実習でとてもよく分かりました。今、短大を諦めないで続けていられるのも、保育実習のお陰です。保育現場で、園長先生や先生たちに褒められたことがありました。お昼寝で子どもを寝かしつける時、スリランカ式でやったら、どの子もすぐに寝てくれたのです。先生たちはとても驚いていました。日本では、子どもの肩やお尻などを手でトントンとしますが、スリランカでは子どものおでこのあたりを指で“ぐるぐる”と回します。文化の違いがあるように育児の違いを感じました。もっと頑張ろうという力を与えてもらいました。次の施設実習や幼稚園実習でも頑張りたいです。

私は、本当は今年度卒業する予定だったのですが、1年生の後期に体調を壊して休学しました。スリランカに帰って手術をして、元気になることができ、去年の3月に日本に戻って、また短大での勉強を続けています。前よりも日本語が分かるようになって、子どものこともよく理解できるようになってきて、とてもうれしいです。私は、人間として必要な笑顔やあいさつなどの基本的なことももっと身に付けて、信頼される人になりたいです。子どもたちと関わり、子どもの安全を一番にして、子どもを守る保育士になるため一生懸命勉強し、将来は日本で働けるよう頑張ります。



寝かしつけの練習（スリランカ式）



読み聞かせの練習

『日本の大学で感じたこと』



成安造形大学 芸術学部芸術学科
空間デザイン領域 プロダクトデザインコース 2 年

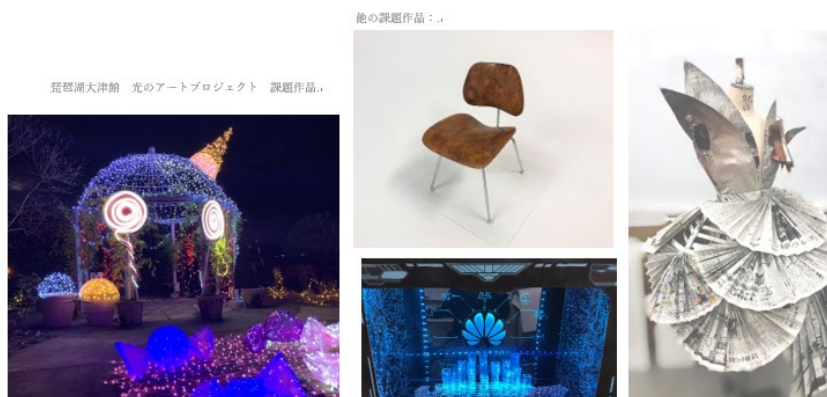
チョウ ジンシ さん

2017 年に東京に来て、日本での留学を始めました。現在私は成安造形大学の芸術学部空間デザイン領域のプロダクトデザインコースで勉強しています。プロダクトデザインは私が深く研究したい内容です。だからこそ、日本に留学に来ました。

日本の大学の授業はとても面白いと思います。同時に、授業には本当の目的と意味が含まれていると感じました。学生の専門能力を育成するとともに、学生たちのチームワークと協調性も育成します。チームワークとコミュニケーション能力の育成はとても重要だと思います。今後社会に出て他の同僚と交流することが避けられないので、できるだけ早く学生時代に他人とのコミュニケーションや協調性などを身につける方がいいと思います。

大学の先生たちは、私に対してもとても優しいです。専門の名詞があり、意味が聞き取れない場合には、先生たちは詳しく説明してくれます。私ができることは、授業で頑張って勉強して、自分の最大の努力で課題を完成し、専門の能力を高めながら、先生の教えに報いることです。

将来、私はまず日本で就職して、社会経験を積んでから母国に帰り、大学の教師になりたいです。日本で学んだこと、感じたことを次の世代の若者に伝えたいです。未来の中国と日本は経済的にも文化的にもより多くの交流があると信じているので、日中友好関係の発展の道で自分の力を発揮します。



曖昧さの境界線

聖泉大学人間学部

郭 絢麗(カク ケンレイ) さん

日本語は、世界一曖昧な言語だといわれている。日本に留学し、一年間経過したが、初めて実感したのは最近だ。

バイト先で好きになった日本人の男の子がいる。K くん。バレンタインデーは、女の子から告白できる最高のチャンスだと思い、チョコレートを渡そうと決心した。「私、チョコを作る！K くんに作りたい！」

私は、バレンタインデー前日に LINE で K くんにも連絡した。でも、明日はバイトだから会えないなあ返信が着いた。そうだね、会えないのか……。彼が告げたい意味がわかった気がした。でも、ほんの少しの希望がまだ私の心に残っていた。やっぱり、どうしても K くんにもチョコを渡したい。バイト前に 5 分でいいから会ってくださいと再送信した。

しかし、返信はなく、14 日午後に「もう出勤しちゃった！」というメッセージが届いた。遠回しに断られたことはよくわかった。私は、ただ彼を好きな気持ちいっぱい、直接会って伝えなかった。でも、チャンスさえもらえなかった。私のことを好きじゃなくてもいい。しかし、会うことさえも、堂々と断らない彼の曖昧な態度にも私の心は傷つけられた。

日本は「和を以て貴しとなす」の「和」の民族といわれる。和には曖昧さも必要かもしれない。曖昧さには優しさが含まれ、ぽかぽか暖かい綿のように、物事がうまく進むこともある。本質を回避して衝突を避けるメリットもあるだろう。時には、とても便利だと思う。

しかし、本質を避けるのはいつもいいことなの？実は無責任だろう。相手を思いやっているように見えて、実は自分を善人だと示したいだけかもしれない。偽善の心理の投影かもしれない。日本に来てから「京都のさよなら茶漬け」を学んだ。これは、個人差なのか、それとも地域文化差なのか。

曖昧さは、境界線があると思う。綿にもなるが針にもなり、人を傷つけることもある。それを見極めるのは、留学生としての今後の課題だろう。

類似の楽器から見た中国と日本

長浜バイオ大学 バイオサイエンス学部
フロンティアバイオサイエンス学科 1 回生

石 峻(セキ シュン) さん

中国と日本は悠久の交流がありますから、両国には色々似ていることがあります。特に楽器の歴史もその一つだと思います。次の四つの楽器の類似からも中国と日本の交流がみえてきます。

まず、三弦が源の中国の二胡と日本の三味線です。二胡は中国の伝統的な弦楽器で、2本の弦があり、900年代の唐から始まり、現在まで千年以上の歴史があります。二胡は身・弦・弓からなり、身は木材で作られていて、その端の方に蛇の皮をかぶせることによって特別な音色が出ます。一方、ご存知のように三味線は日本の弦楽器の一種です。

楽器は四角状の木の板に皮をかぶせて作られており、源は中国の三弦です。ちなみに日本の伝統音楽界では、“三味線”を“三味線(さんげん)”と直接音訳することもあります。逆に中国の民族楽器“三弦”は直接音訳して“三弦(サンシェン)”と呼ぶこともあります。日本の“シャミセン”は、この響きに似ています。しかし、音のみでは両方を混同してしまうから、中国では一般的に日本のものは“三味線(シャミセン)”と呼びます。この二つの楽器の作り方は中国の三弦を改善しましたから、演奏のし方は違いますが音色は似ています。今はいろいろな場合に使われますが、昔は両方とも悲しいことや哀れなことを表現することに使っていました。

次は日本の箏(KOTO)と中国の古箏(KOSO)です。日本ではKOTOを箏(SO)とも言うそうですが、日本の箏は中国唐代の十三弦箏が日本に伝来し、そして箏になりました。木製の長方形の上に弦を13本張っています。一方、古箏は中国漢民族の伝統楽器で、日本の箏と形状は同じですが弦の数が違います。唐宋の時には弦が13本あり、後に16本、18本、21本などに増加し、現在最もよく使われているのは21本です。この二つの源はどちらも中国唐代の十三弦箏ですから音色や演奏の仕方などほぼ同じです。今でも両方は大切な伝統楽器です。

楽器は単純的に曲を演奏するだけではなく気持ちや物語を謳歌することですから、似ている楽器には似ている文化があります。三弦が源の二胡と三味線や、十三弦箏が源の古箏と箏のように日本と中国は外見こそ違っていますが、中身は似ている兄弟だと思います。

滋賀の思い出

立命館大学 理工学研究科
博士後期 1 回生

チン シン(QIN Xin) さん

一番最初は、関西空港から新幹線で京都を経由して、滋賀に来た。山科駅を通ったら、揺らめいている波を光が反射して、琵琶湖が目の前に現れた。二月の気温は冷たくて乾いていて、ずっと南国で暮らした私はマフラー一枚も持っていなかった。面接のスーツも半袖の夏用しかなかった。滋賀は寒い！私はそう思った。

桜の季節が過ぎると、サツキがいっせいに咲いていく。バス停から研究室までの道はサツキとツバキに囲まれ、春に薄いピンクと真っ白な花が咲き、真冬でも緑の葉は落ちない。夏にはたまにユリに会える。地面からまっすぐに立ち上がった茎に凜として咲いている。五月に入ったら、雨は急に降ったり急に止んだりする。傘を持ってない日は、食堂で大きな窓前の雨景色を眺める。秋になったら、キンモクセイの香りは風とともに漂う。地面に落ちた黄色の花びらは散らばった宝石のようだ。キャンパスは坂の上にあるため、風の強い日が多い。雲は高い空の上に走り、山に映された雲の影も、それを追いかけている。

今年は、滋賀で過ごす7年目だった。誰もそこまでいると思わなかったが、気づいたら人生の4分の1は滋賀で過ごした。不安、驚き、悲しみ、喜びと感動、少しずつ日常に馴染んで、流れた時間の一部分になった。最初は聞き取れなかった関西弁も、いつの間にか直らない癖になってしまった。たまに旅人と出会ったら、地元の人のように街の案内もできるようになった。私自身も、それらの旅人の中の1人だ。流れゆく四季は誰のものでもない。私ができることは、その流れを感じることを感謝するだけだ。



【近江神宮の風景】

帰り道の夕陽がきれい

龍谷大学大学院 理工学研究科
情報メディア学専攻 修士1年生

周 桐(シュウ トウ) さん



今日、M1 の中間発表の終わりに伴い、私にとっての春休みがやっと来ました！

2020 年を振り返ってみると、コロナ禍の中、本当にいろいろありましたね。

2020 年 1 月頃、大津市に引っ越ししました。そこから体験したことはほぼ全部人生初です。コロナで帰国のチケットがキャンセルされて、初めて一人で異国での春節を過ごしました。続いて、4 月に日本でも緊急事態宣言で、アルバイトがだいぶ減らされ、どこにもいけない状態になりました。その時期は辛かったです。入学して、毎日マスクをするのはもちろん、対面授業の TA をやっているの、マスクの上にフェイスシールドも使わないと！5 月から龍大の食糧支援や滋賀県の学生支援を受け、助かったと同時に温かみも感じました。

確かに来日以来、多くの人から温かい助けを受けました。例えば、学校生活において研究がなかなか進めない時、既に卒業した研究室の先輩がいつもビデオ会議で親切に教えてくれたおかげで、9 月に研究成果を学会で発表することができました。オンラインでの発表だけど、これも人生初です！日常生活において、アルバイト先の友達がいつもいろんなことを教えてくれたり、旅行に連れて行ってくれたり、おかげさまで楽しい毎日を送っています。

コロナ禍で色んな事が出来ないけど、その時期こそできることを見つけましょう！つまらないことから面白いことを探しましょう！辛い時期こそ、ますます前向きな気持ちで毎日を送るのは大事だと思います。

美しい風景より美しいものを見つけようの気持ちの方がもっと重要だと思います。今年も遠い旅行に行けないかもしれませんが、帰り道の夕日もきれいですよ！

では、近所へお花見に行ったらいかがでしょうか？



交流事業の紹介

独立行政法人日本学生支援機構 近畿支部

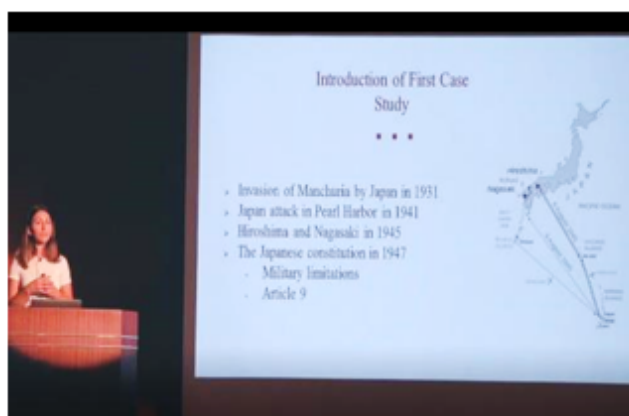
- 交流事業名：兵庫国際交流会館交流研究発表会
- 開催日時：令和元年9月7日（土曜日）13時30分～15時50分
- 内容：

兵庫国際交流会館に入居する世界各国・地域からの優秀な外国人留学生等が、大学や研究機関等で研究している内容を紹介することにより、入居者間の知的ネットワークの形成と研究交流を促進することを目的に実施。なお、2020年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、無観客で行った研究発表を録画し、JASSO ホームページ及び YouTube TIEC & HIH channel にて公開。

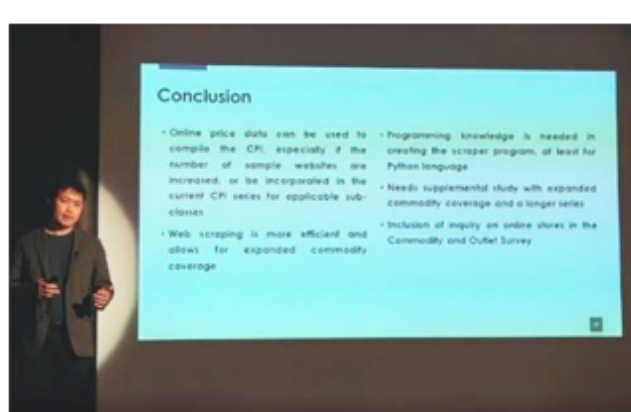
JASSO ホームページ： <https://www.jasso.go.jp/ryugaku/kyoten/hiec/event/koryu/index.html>

第14回テーマ：「What is MY STUDY?」令和2年10月20日公開

第15回テーマ：「What is MY STUDY?」令和3年3月公開予定



発表の様子①



発表の様子②



発表の様子③



発表の様子④

交流事業の紹介

草津市国際交流協会（K I F A）

- 交流事業名：日本語ひろば 10 周年記念事業
- 開催日時：2020 年 11 月 28 日（土）14 時 00 分～16 時 00 分
- 開催場所：草津市市民交流プラザ大会議室
- 参加者：49 名（内外国人 13 名（内留学生 11 名））
- 内容：
日本語教室「きずな」の 10 周年を記念して動画上映会を開催し、その後外国人を交えて外国人が住みやすい環境に関するワークショップを実施。



交流事業の紹介

龍谷大学

- 交流事業名：オンラインフェアウェルパーティ
- 開催日時：2020 年 8 月 4 日（火）15 時 45 分～16 時 45 分
- 開催場所：Zoom によるオンライン交流会
- 参加者：留学生別科生、交換留学生、日本人学生
- 内容：

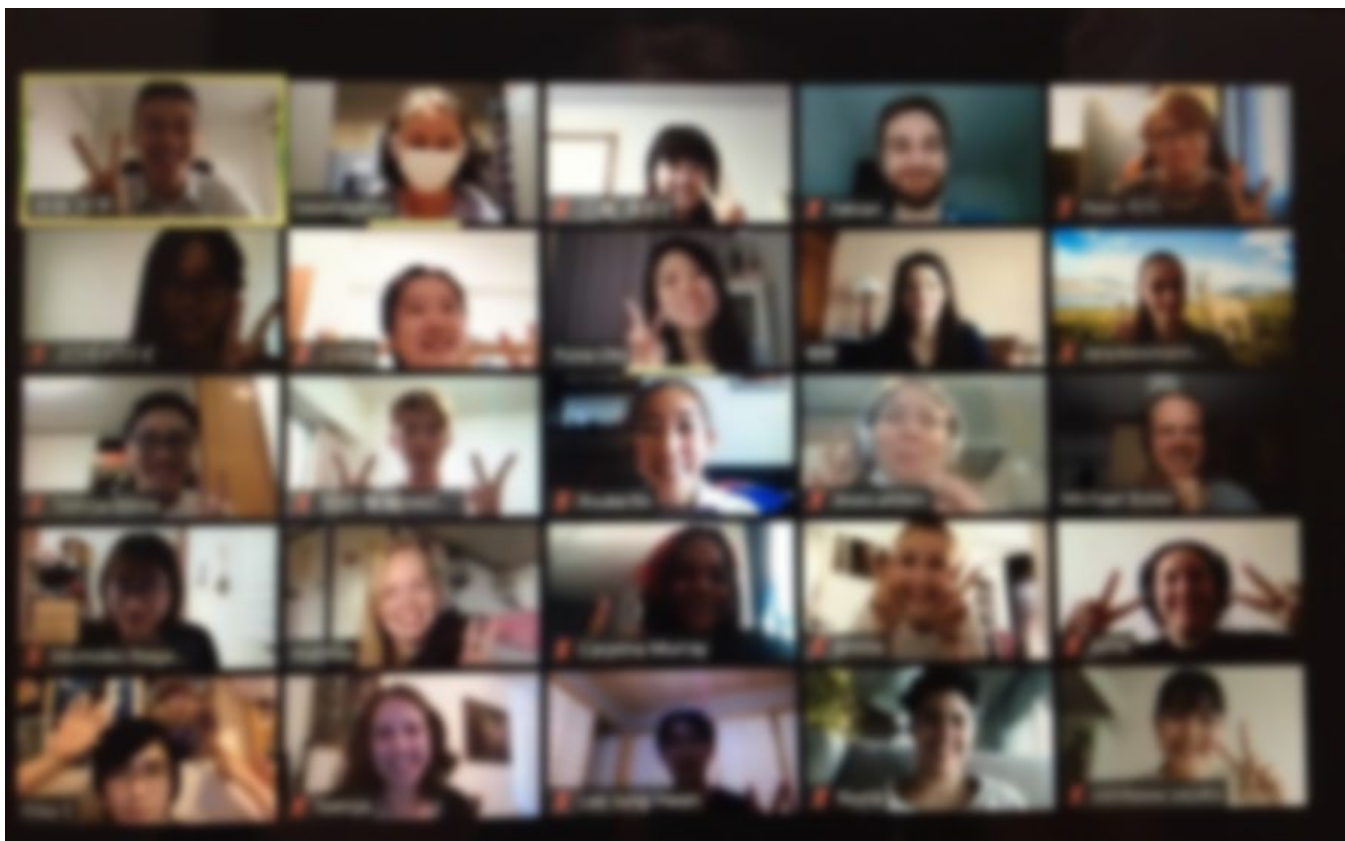
2020 年度から立ち上げた龍谷大学グローバル教育推進センター所管の学生団体グローバルサポーター（通称：グロサポ）の協力を得て、ZOOM を活用したオンラインフェアウェルパーティを開催しました。

これまでは、キャンパス内で学期末に開催していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、初めてオンラインで開催することになりました。

このオンラインパーティーには、受入交換留学生・留学生別科生に加えて、本学の国際交流に興味がある日本人学生、過去に本学で受入交換留学生として在学していた方を招待しました。全員で 26 名の学生・元学生が参加しました。参加者の出身国・地域は、カナダ、ドイツ、イギリス、オランダ、スペイン、フランス、アメリカ（ハワイ）、デンマーク（フェロー諸島）、中国、韓国、台湾と多岐にわたり、とてもグローバルな雰囲気となりました。

まず初めに、グローバル教育推進センター長からご挨拶、その後 Breakout room 機能を活用して、それぞれ 4 名ほどのグループに分かれて自己紹介、絵しりとりを楽しんでから最後にもう一度全員で振り返る時間を持ちました。

新型コロナウイルスの影響により、ソーシャルディスタンスを守る必要がある日々が続いている一方で、今回のパーティを通してオンラインにより、オンラインだからこそ世界が一つになるようなイベントを実施できる可能性を見出すことができました。



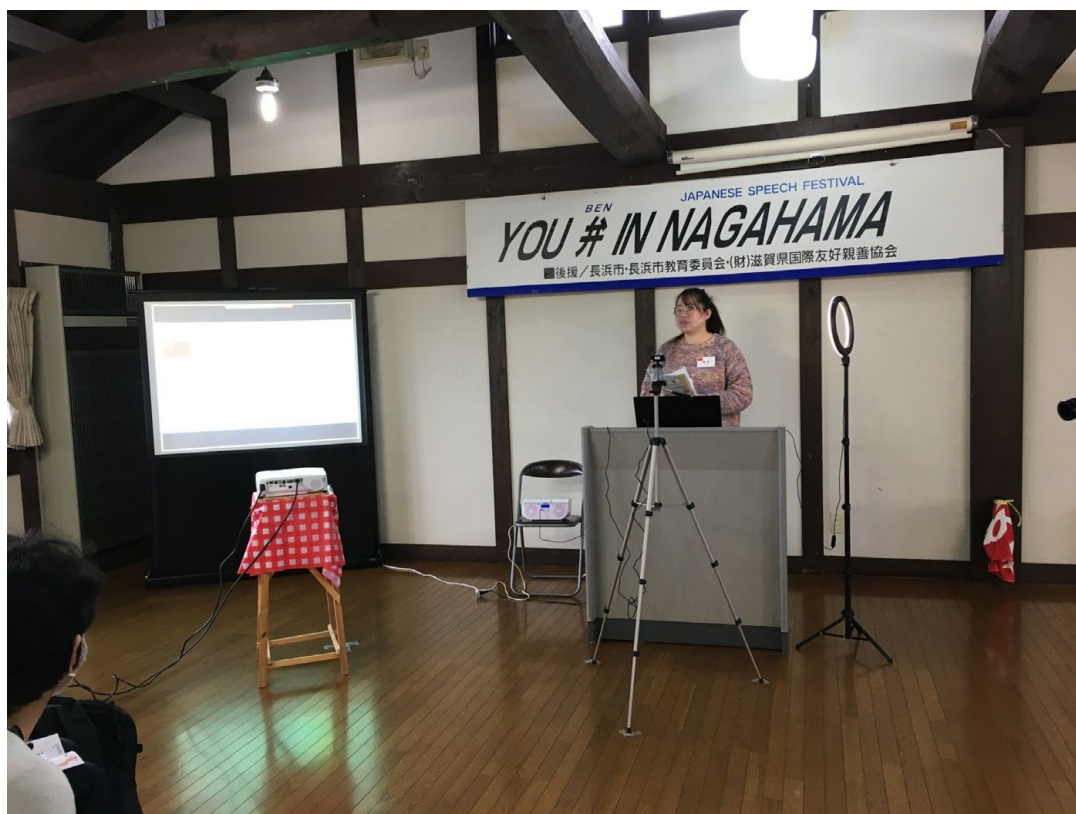
交流事業の紹介

長浜バイオ大学

- 交流事業名：you 弁 in Nagahama
- 開催日時：2020 年 12 月 12 日 13 時 00 分～
- 開催場所：長浜市多文化共生・国際文化交流ハウス GEO
- 参加者：本学学生 3 名、一般市民
- 内容：

長浜市民国際交流協会が毎年実施しているスピーチ大会に本学から 2 名の学生が参加し発表を行い一般市民との交流を深めた。コロナ禍で従来の形態で実施できなかったため、会場に入れた留学生は 3 名と少なかったが充実した交流ができた。

次年度以降も本事業には参加したいと考えている。



交流事業の紹介

2020 年度滋賀県内の留学生関連国際交流事業一覧 1/3

NO.	実施日	団体名	交流事業内容	場所	対象者・参加者	活動内容
1	2020年12月12日 13:00～16:00	長浜市民国際交流協会	第32回 You 弁 in Naganama	長浜市多文化共生・国際文化交流ハウスGEO	長浜在住の 外国籍市民と一般市民 (約30名)	外国籍市民【留学生3名…長浜バイオ大学2名(中国)、滋賀文教短期大学1名(タイ)含む】によるスピーチ。長浜市民は会場とオンラインにて視聴。
2	2020年7月2日 16:30～17:30 2020年7月9日 17:30～18:30 他	龍谷大学	オンライン国際交流会	Zoomによるオンライン 交流会	正規留学生 留学生別科生 交換留学生 日本人学生	2020年度から立ち上げた龍谷大学グローバル教育推進センター所管の学生団体グローバルサポーター(通称:グロサポ)の協力を得て、ZOOMを活用したグループディスカッション形式にて、留学生がコロナ禍について自由に話せる機会を設定しました。 留学生から忌憚のない意見が引き出せるよう、学生主体の「オンライン国際交流会」という体裁で実施し、前半は各留学生が言語のレベルに関係なく楽しんでもらえる雰囲気の中でゲーム的交流、後半は悩み相談的交流として留学生の課題や悩みについてグロサポの学生から留学生にヒアリングを行いました。
3	2020年10月29日 12:15～13:05	龍谷大学	オンラインHalloween Party	Zoomによるオンライン交流	正規留学生 留学生別科生 交換留学生 日本人学生	2020年度から立ち上げた龍谷大学グローバル教育推進センター所管の学生団体グローバルサポーター(通称:グロサポ)の協力を得て、オンラインHalloween Partyを開催しました。当日のスケジュールは次のとおりです。 12:15～12:20 受付 12:20～12:25 挨拶 12:25～12:30 ゲーム説明 12:30～12:50 ゲーム 12:50～13:05 トーク 13:05～13:10 挨拶 初めは参加者が発言に遠慮している様子が見られましたが、ゲーム後は自発的な発言が見られました。また、トークの時間ではお互いのハロウィンの印象や文化を話す様子が見られ、参加者同士で質疑応答が行われたイベントとなりました。
4	2020年12月10日 14:00～14:55	龍谷大学	オンラインYear-end Party	Zoomによるオンライン交流	正規留学生 留学生別科生 交換留学生 日本人学生	2020年度から立ち上げた龍谷大学グローバル教育推進センター所管の学生団体グローバルサポーター(通称:グロサポ)の協力を得て、オンラインYear-end Partyを開催しました。当日のスケジュールは次のとおりです。 14:00～14:05 受付 14:05～14:10 挨拶 14:10～14:15 ワードワルゲーム説明 14:15～14:35 ワードワルゲーム 14:35～14:50 トーク 14:50～14:55 挨拶 最初は参加者にとって、自ら話すことは難しいと感じていた様子が見られました。しかしながら、ゲーム内容を理解してからは盛り上がり、その中で日本と外国との学校の違いやファッションの違いを知る機会になりました。トークの中では、各参加者の出身国内のコロナ情勢を知ることができました。開催時には、また参加したいという声も出て、有意義なイベントとなりました。
5	2020年10月26日 15:00～16:00 他	龍谷大学	オンラインにほんごかふえ	Zoomによるオンライン交流	正規留学生 留学生別科生 交換留学生 日本人学生	2020年度から立ち上げた龍谷大学グローバル教育推進センター所管の学生団体グローバルサポーター(通称:グロサポ)の協力を得て、日本語を話す機会が減少傾向にある留学生向けに、オンラインにほんごかふえを定期的に開催しています。 多くの留学生は、長期間にわたるステイホームやオンライン授業の影響により、入学時から日本人の友人を作るのが困難な状況にあります。日々の学生生活に悩みを抱えている留学生も多いですが、にほんごかふえを通して日本人と会話ができたり、オフラインでも約束もできたりすることもあり、留学生にとって非常にいい交流機会を提供できました。
6	2020年8月4日 15:45～16:45	龍谷大学	オンラインフェアウェルパーティ	Zoomによるオンライン 交流会	正規留学生 留学生別科生 交換留学生 日本人学生	2020年度から立ち上げた龍谷大学グローバル教育推進センター所管の学生団体グローバルサポーター(通称:グロサポ)の協力を得て、ZOOMを活用したオンラインフェアウェルパーティを開催しました。 これまでは、キャンパス内で学期末に開催していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、初めてオンラインで開催することになりました。このオンラインパーティには、受入交換留学生・留学生別科生に加えて、本学の国際交流に興味がある日本人学生、過去に本学で受入交換留学生として在学していた方を招待しました。全員で26名の学生・元学生が参加しました。参加者の出身国・地域は、カナダ、ドイツ、イギリス、オランダ、スペイン、フランス、アメリカ(ハワイ)、デンマーク(フェロー諸島)、中国、韓国、台湾と多岐にわたり、とてもグローバルな雰囲気となりました。 まず初めに、グローバル教育推進センター長からご挨拶、その後Breakout room機能を活用して、それぞれ4名ほどのグループに分かれて自己紹介、絵しりとりを楽しんでから最後にもう一度全員で振り返る時間を持ちました。新型コロナウイルスの影響により、ソーシャルディスタンスを守る必要がある日々が続いている一方で、今回のパーティを通してオンラインにより、オンラインだからこそ世界が一つになるようなイベントを実施できる可能性を見出すことができました。
7	2021年3月5日	滋賀医科大学	留学生による日本語スピーチ コンテスト	滋賀医科大学附属図書館内 講義室	(発表者)外国人留学生 (聴衆)外国人留学生・教職員・学生・ 学外団体の代表者等	本学開講の日本語教室(課外)に参加する外国人留学生が発表者となり、習熟度の測定と学習意欲の向上を目的に開催するもの。審査には学内の教職員のみならず、学外団体の代表者や学生等があたり、審査員の多様性を確保する。日本語教室に未参加の外国人留学生も招待し、日本語学習への関心を高める。なお、新型コロナウイルス感染症への対策として会場を2つに分け、Zoomによるライブ配信を行う。

交流事業の紹介

2020 年度滋賀県内の留学生関連国際交流事業一覧 2/3

NO.	実施日	団体名	交流事業内容	場所	対象者・参加者	活動内容
8	2020年10月29日 2020年10月31日 2020年11月5日	滋賀県 総合企画部国際課	滋賀県JET参加者・留学生の ための就職セミナー & 企業説明会・交流会	オンライン	留学生・JET参加者・・・17名 ・留学生5名 所属：滋賀県立大学1名・龍谷大学4名 ・JET参加者12名 参加企業・・・5団体 主催 滋賀県 滋賀県外国人材受入サポートセンター ジェトロ滋賀	企業・外国人参加者別 分科会セミナー 【外国人材対象セミナー】 日本での就職活動基礎知識・新型コロナウイルス感染症拡大の外国人材雇用 への影響について等 講師：(株)ロジックアンドサブライズ代表取締役 大隅 要 氏 各企業研究会・企業と外国人材の交流会 外国人材受入サポートセンター統括アドバイザーがファシリテーターとなり、 10分程度の企業からの説明の後、外国人材と企業が質疑をしながら交流を 行った。 個別相談コーナー 希望者を対象に、行政書士による個別相談会を行った。(Zoomのブレイクアウ トルームを利用)
9	2020年7月11日	滋賀大学	第1回留学生対象就職活動 ガイダンス	オンライン開催	対象者・参加者：留学生33名 (滋賀大学20名、滋賀県立大学4名、 聖泉大学2名、長浜バイオ大学5名、 龍谷大学1名、成安造形大学1名)	このガイダンスは、外国人留学生が日本で就職活動をするための一般的な情報、 注意点や事業情報等の提供を目的として「留学生対象就職活動ガイダンス」 をオンラインで開催した。 (主催：滋賀大学、産根長浜地域連携協議会、 共催：滋賀県立大学、聖泉大学) 今回は、本学就職支援室入江直樹先生の「日本での就職活動概要・今後の 就活状況・具体的な就活の流れなど」、元滋賀大学国際交流機構・実野滋 生の「留学生の就職活動と在留資格に関して」の講義と、商工会議所の企 業情報提供、名古屋大学発ベンチャーの株式会社Harmony Forの事業紹介 (外国人留学生と企業のマッチングサービスなど)を行った。 参加した留学生は、日本での就職活動の方法やコツ、在留資格の変更手続 きなどに関心を持って、情報を収集する機会となった。
10	2020年12月13日	滋賀大学	第2回留学生対象就職活動 ガイダンス	オンライン開催	留学生17名 (滋賀大学14名、滋賀県立大学1名、 龍谷大学2名)	2020年7月に続き、第2回「留学生対象就職活動ガイダンス」をオンラインで 開催した。(主催：滋賀大学、びわ湖東北部地域連携協議会、共催：滋賀県 立大学、聖泉大学) このガイダンスは、「日本の企業等から内定を得て、在留資格変更許可申請 を行う予定の留学生」や「まだ全く就職活動を始めていないが、日本での就 職を希望する留学生」に、今後の手続きや就活の参考のため、オンラインで 開催した。 今回は、本学就職支援室入江直樹先生の「日本での就職活動について～コ ロナの影響を考慮して～」、元滋賀大学国際交流機構・実野滋先生の「留 学生の就職活動と在留資格に関して」の講義と、本学を卒業し日本の企業に 就職した先輩からの「就職活動体験談」「就職先での業務や近況」や、内定 をもらって就活を終えた留学生(4年生)からの「日本で就職しようと思った きっかけ」「就職活動体験談や後輩への就活アドバイス」「内定先(就職先) の業務や仕事の内容など」の情報共有を行った。 参加した留学生は、日本企業が期待する留学生の採用や就職活動のテク ニックなど実体験を聞くことにより、今後の進路選択の参考となる有意義な時間 となった。
11	夏ターム(7月11日～ 9月19日の8回開催) 土曜日11:00～12: 00 秋ターム(10月10日 ～12月19日の10回 開催) 同上 冬ターム(1月16日～ 3月13日の9回開催) 同上	草津市国際交流協会 (KIFA)	オンライン日本語ひろば 「きずな」	オンライン(ZOOM)	各回平均日本人スタッフ20名＋外国人 40名(内留学生25名)	立命館大学の教室を借用して開催している日本語教室であるが、コロナ対策 として今年度は、完全ZOOMでの開催を実施した。 日本語教育のニーズは高く、参加希望者が増える傾向で推移している。 次年度よりは、通常の対面式での開催を検討しているが、コロナ禍の推移 によってはオンライン継続も視野に入れている。
12	毎週火曜日 10:20(11:00) ～12:00	草津市国際交流協会 (KIFA)	やさしい日本語サロン	UDCBKでの対面式開催と オンライン開催を月2回ず つ	日本人7, 8名＋外国人5, 6名(内留学生 は1, 2名)	外国人との交流の場を作るという目的で、3年前より南草津のUDCBKで開催 していたやさしい日本語サロンもコロナ対策で、月2回をオンライン (ZOOM)で開催している。火曜日という時間帯なので留学生は少なく、子育 てに悩む主婦等相談相手のいない外国人の相談、交流の場になっており定 着してきている。
13	2020年11月28日 14:00～16:00	草津市国際交流協会 (KIFA)	日本語ひろば10周年記念事業	草津市市民交流プラザ 大会議室	49名(内外国人13名(内留学生11名))	日本語教室「きずな」の10周年を記念して動画上映会を開催し、その後外国 人を交えて外国人が住みやすい環境に関するワークショップを実施した。
14	2020年12月12日 13:00～	長浜バイオ大学	you 井 in Nagahama	長浜市多文化共生・国際 文化交流ハウスGEO	本学学生3名、一般市民	長浜市民国際交流協会が毎年実施しているスピーチ大会に本学から2名の学 生が参加し発表を行い、一般市民との交流を深めた。 コロナ禍で従来の形態で実施できなかったため、会場に入れた留学生は3名 と少なかったが充実した交流ができた。 次年度以降も本事業には参加したいと考えている。

交流事業の紹介

2020 年度滋賀県内の留学生関連国際交流事業一覧 3/3

NO.	実施日	団体名	交流事業内容	場所	対象者・参加者	活動内容
15	令和2年10月20日 公開 令和3年3月 公開予定	独立行政法人 日本学生支援機構 近畿支部	兵庫国際交流会館 交流研究発表会	JASSOホームページ及び YouTube TIEC & HIH channelにて公開		兵庫国際交流会館に入居する世界各国・地域からの優秀な外国人留学生 等が、大学や研究機関等で研究している内容を紹介することにより、入居者間の 知的ネットワークの形成と研究交流を促進することを目的に実施。 なお、2020年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、無観客 で行った研究発表を録画し、JASSOホームページ及びYouTube TIEC & HIH channelにて公開。 JASSOホームページ： https://www.jasso.go.jp/ryugaku/kyoten/hiec/event/koryu/index.html 第14回テーマ：「What is MY STUDY?」令和2年10月20日公開 第15回テーマ：「What is MY STUDY?」令和3年3月公開予定 ※日本学生支援機構の兵庫国際交流会館で実施する国際交流拠点事業に ついて記載。
16	実施日は右の「活動 内容」のURL参照	独立行政法人 日本学生支援機構 近畿支部	兵庫国際交流会館における 国際交流拠点推進事業 (G- Navi)	オンラインにて実施		一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸及び国立大学法人神戸大学へ の委託事業。 兵庫国際交流会館を「国際交流の拠点」として活用する各種事業を実施。 なお、2020年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、主として オンラインにて実施。 主な事業： 【大学コンソーシアムひょうご神戸】 ○フアンリテーション・プロジェクト演習 ○キャリアアカデ「Nada Global Village (NGV)」 ○おうちで避難訓練～災害大国日本で大切な命を守るために～ ○English Virtual Village 英語村 ※その他の事業は以下URLをご覧ください。 http://www.consortium-hyogo.com/g-navi/ 【神戸大学】 ○留学生のための日本語アカデミックライティングラボ ○就職のための日本語講座 ○多文化多言語ワークショップ：コロナ禍での生活ー世界の視点からー ○生活のための【オンライン】日本語教室 ※その他の事業は以下URLをご覧ください。 https://g-navi.jp/
17	2021年2月12日 13:00～16:00	立命館大学	オンラインによる 留学生懇談会	オンラインにて実施	【留学生】滋賀医科大学1名、滋賀大学3 名、立命館大学2名（計6名） 【職員】滋賀医科大学1名、滋賀大学2名、 立命館大学2名（計5名）	コロナ禍において学習や生活で様々な苦難に直面している留学生に、率直 に語り合う場を提供し、留学生同士が交流できる場を作り、留学生にとって必 要な支援について考える場とする。



留学生データ

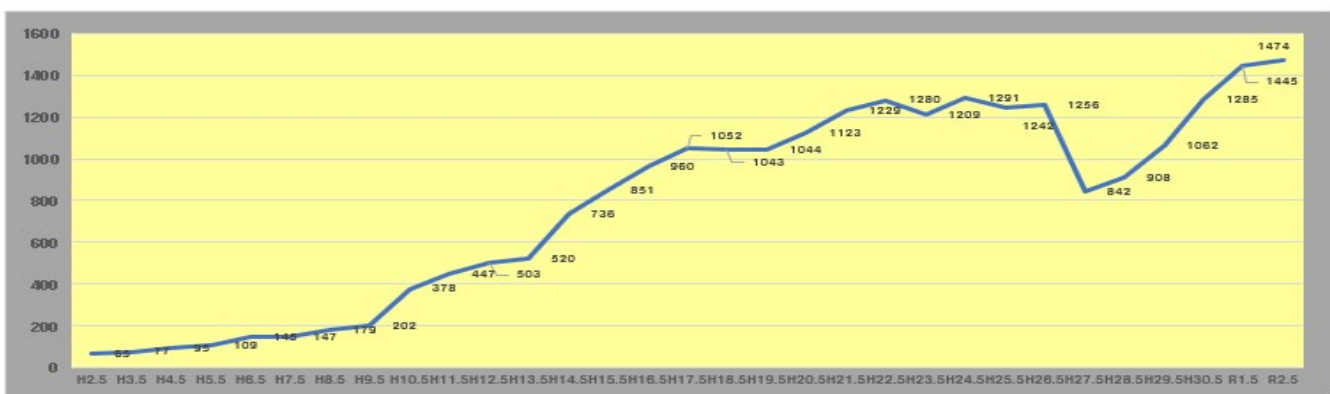
県内大学、短期大学の留学生受入状況（令和2年5月1日）

(1) 滋賀県留学生数の推移

留学生の推移

（単位：人）

H1.5	H2.5	H3.5	H4.5	H5.5	H6.5	H7.5	H8.5	H9.5	H10.5	H11.5	H12.5
49	65	77	95	109	145	147	179	202	378	447	503
H13.5	H14.5	H15.5	H16.5	H17.5	H18.5	H19.5	H20.5	H21.5	H22.5	H23.5	H24.5
520	736	851	960	1,052	1,043	1,044	1,123	1,229	1,280	1,209	1,291
H25.5	H26.5	H27.5	H28.5	H29.5	H30.5	R1.5	R2.5				
1,242	1,256	842	908	1,062	1,285	1,445	1,474				



(2) 滋賀県外国人留学生数【在籍身分別】（令和2年5月1日現在）

大学	学部・短大					大学院					合計	【参考】 前年度 在籍者数
	正規課程		非正規課程		小計	正規課程		非正規課程		小計		
	国費	私費	国費	私費		国費	私費	国費	私費			
滋賀医科大学	0	0	0	0	0	18	18	0	0	36	36	31
滋賀県立大学	0	14	0	18	32	3	26	0	7	36	68	76
成安造形大学	2	96	0	0	98	0	0	0	0	0	98	71
聖泉大学	0	51	0	1	52	0	0	0	0	0	52	51
長浜バイオ大学	1	39	0	0	40	0	5	0	0	5	45	28
びわこ成蹊スポーツ大学	0	4	0	1	5	0	0	0	0	0	5	10
立命館大学	1	634	0	2	637	35	302	0	3	340	977	957
龍谷大学	0	52	0	1	53	1	13	0	3	17	70	61
びわこ学院大学・ びわこ学院大学短期大学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
滋賀文教短期大学	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3
滋賀短期大学	0	18	0	0	18	0	0	0	0	0	18	15
滋賀大学	0	49	0	13	62	2	38	1	1	42	104	141
計	4	958	0	36	998	59	402	1	14	476	1,474	1,445

※非正規課程とは、研究生・科目等履修生等を示します。

留学生データ

(3) 滋賀県内大学における国別外国人留学生数【出身国（地域）別】 (令和2年5月1日現在)

国・地域	学部・短大					大学院					合計
	正規課程		非正規課程		小計	正規課程		非正規課程		小計	
	国費	私費	国費	私費		国費	私費	国費	私費		
中国	1	717	0	15	733	0	277	0	10	287	1,020
韓国	0	76	0	1	77	1	4	0	0	5	82
インドネシア	2	43	0	0	45	8	18	0	0	26	71
ベトナム	0	33	0	1	34	10	16	0	0	26	60
マレーシア	0	30	0	3	33	8	2	0	0	10	43
台湾	0	19	0	4	23	0	7	0	1	8	31
バングラデシュ	0	1	0	0	1	6	14	0	0	20	21
タイ	0	6	0	0	6	4	8	0	0	12	18
インド	0	5	0	0	5	3	9	0	0	12	17
モンゴル	0	0	0	2	2	6	7	0	0	13	15
スリランカ	0	7	0	0	7	0	0	0	0	0	7
キルギス	0	0	0	0	0	1	5	0	0	6	6
イギリス	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	5
ナイジェリア	0	0	0	0	0	1	4	0	0	5	5
ミャンマー	0	1	0	0	1	0	4	0	0	4	5
ウズベキスタン	0	0	0	0	0	1	3	0	0	4	4
フィリピン	0	0	0	0	0	1	3	0	0	4	4
香港	0	4	0	0	4	0	0	0	0	0	4
アフガニスタン	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	3
ウガンダ	0	3	0	0	3	0	0	0	0	0	3
スペイン	0	0	0	2	2	0	0	1	0	1	3
トルコ	0	2	0	0	2	0	1	0	0	1	3
パキスタン	0	0	0	0	0	2	1	0	0	3	3
イラン	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	2
サウジアラビア	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	2
シリア	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	2
シンガポール	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	2
ドイツ	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	2
ネパール	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	2
フィンランド	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	2
フランス	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	2
マラウイ	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	2
南アフリカ	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	2
アメリカ	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
アラブ首長国連邦	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
エジプト	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
カナダ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
グアテマラ	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
ケニア	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
ザンビア	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
セネガル	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
ソマリア	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
タジキスタン	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
ナミビア	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
バーレーン	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
パラグアイ	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
ハンガリー	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
ベナン	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
ホンジュラス	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
マカオ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
マルタ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
メキシコ	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
モーリシャス	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
ロシア	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
計	4	958	0	36	998	59	402	1	14	476	1,474

※上記数字は、在留資格「留学」を有する留学生のみの人数です。

※非正規課程とは、研究生・科目等履修生等を示します。

編集発行	滋賀県留学生交流推進会議 〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67 龍谷大学 グローバル教育推進センター TEL.075-645-7898 FAX.075-645-2020
発行月	2021 年 3 月